

2024 年度 臨床専門専修科生研修プログラム

| | |
|--|--|
| 講座名 | 歯周病学講座 |
| 主任教授 | 齋藤 淳 |
| プログラム責任者名 (プログラムの管理・運営) | 齋藤 淳 |
| プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称 | 日本歯周病学会歯周病認定医, 日本歯科専門医機構 (日本歯周病学会) 歯周病専門医 ※在籍年数によって異なる |
| 研修期間 (入学時期) | 原則として2年間以上 (原則として4月) |
| 受入れ人数 (総数) | 8名程度 (総数) |
| 指導医 | 齋藤 淳, 富田幸代, 今村健太郎, 山下慶子, 北村友里恵 |
| 修了の認定要件 | 所定のプログラムを修了すること |
| プログラムの目的 | |
| 日本歯周病学会の専門医・認定医取得に必要な歯周病治療の研修を目的とする。 | |
| ユニット | |
| 保存科 (歯周病学講座) の臨床専門専修科プログラム | |
| 一般目標 (GIO) | |
| 日本歯周病学会歯周病専門医・認定医資格を取得するために、歯周治療に関する高度な知識、技能を修得する | |
| 行動目標 (SB0s) | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周組織検査を適切に行う 2. 診断を基に、予後の判定, 治療計画の立案を行う 3. 歯周基本治療を行う 4. 歯周外科手術 (含 歯周組織再生療法) を行う 5. 適切なメンテナンス・SPT プログラムを提供する 6. 基本的な臨床研究を実施する | |
| 方略 (LS) | |
| 以下の項目について、リクワイヤメント記録を作成し、指導医の指導、監督のもとで研修を行う。 | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 登録症例: 3症例以上登録し、歯周基本治療からメンテナンスまでの一連の治療を行う。 2. 治療症例: 診査・診断・治療計画の立案 (3症例), プラークコントロール (3症例), スケーリング・ルートプレーニング (3症例), フラップ手術 (5症例), メンテナンス (1症例) を行う。 3. 知識の修得: (1) 症例プレゼンテーション (上記症例のうち 10 症例), (2) 症例に対する文献考察 (海外論文抄読会: 10 件) | |
| 評価 (EV) | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 形成的評価: 観察記録 (各項目の研修ごとに指導医からフィードバック) 2. 総括的評価: 研修終了時にリクワイヤメント記録を提出し、研修成果を学会で発表し、研修態度、研修成果を総合的に判断する。 | |
| プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準 | |
| [専門医] 1. 日本歯周病学会で認めた研修施設で通算5年以上の歯周病学の研修と臨床経験を有すること 2. 通算5年以上の学会員であること 3. 教育研修単位を50単位以上修得すること 4. 専門医試験に合格した者 [認定医] 日本歯周病学会の規定を参照のこと | |
| 問合せ先 | 教授・齋藤 淳 (atsaito@tdc.ac.jp) |